

施設名：山口森林ふれあいセンター

担当部 農林水産部

担当課 農林整備課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者 市民		林業の振興及び発展を図るために設置した山口森林ふれあいセンター(以下「センター」という。)の維持管理を行うとともに、森林・林業に親しむための各種教室やイベントを実施しました。 センターの管理は指定管理者が行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
林業従事者及び林業経営者に対する林業経営、林業技術についての研修の場として施設を利用することができます。 森林の大切さを理解し、森林の良さを活かした交流が進みます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	森林を守り、育て、生かしたまち	
	基本事業	森林資源を生かした魅力ある地域づくり	
事業開始背景等	林業の振興及び発展を図るとともに、各種教室やイベントを通じて、市民に森林・林業に広く親しんでもらうため、平成8年に設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大		☐ 法定受託事業
	☐ 貢献度中		☒ 妥当性がある
	☐ 貢献度小		☐ 見直し余地あり
	☐ 基礎的事務事業		☐
有効性	成果状況		各種イベントを実施することで、森林・林業への関心が高まりつつあることから、引き続きイベント参加者のニーズをとらえて、さらに森林・林業への関心を持たれるようイベントの内容を検討します。
	☐ 向上(最高状態維持含む)		
	☒ 維持・横ばい		
	☐ 低下・悪化		
	成果向上余地		
効率性	☐ 大 ☒ 中 ☐ 小		類似の事業はありません。
	☐ なし ☐ ☐		
	類似事業との再編成		
	☐ 再編成できる(理由→)		
	☐ 再編成できない(理由→)		
効率性	☒ 類似事業なし		特にありません。
	コスト削減余地		
	☐ 効率化余地あり		
	☒ 現状手段が適切		
	☐		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
林業関係団体と連携し、計画的な実務研修会や関係者会議が開催されています。 また、森林・林業に係るイベントを実施し、森林の持つ多面的機能の啓発を行い、森林・林業への関心を高めています。 センターの利用許可や利用料金の徴収・減免等の事務や経理は適切に処理され、適正な施設運営が行われています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口森林ふれあいセンター

指定管理者: 山口県中央森林組合

指定期間: 令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント					評価					評点
									不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定、年度協定等に基づき、受付事務、利用許可、貸館等、適正な施設の運営が行われている。			☆				3			
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	事業計画に基づき、施設内外の清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理が適正に行われている。			☆				3			
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	浄化槽の点検、消火施設の点検等が承認を受けた上で第三者に委託されており、適正な検査が行われている。			☆				3			
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	受付事務、利用許可、施設の維持管理等に対応できる人員の配置、業務の分担が適正に行われている。			☆				3			
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の集会所として施設利用させ、地域自治会に一員として参加されるなど、自治会活動等において協働が積極的に図られた。			☆				3			
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	施設の場所がわかりにくいため、施設への案内板を設置されるなど、苦情に適切に対応されている。			☆				3			
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	労働法規等を遵守されており、良質なサービスを提供するための労働環境も維持されている。			☆				3			
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例に基づき、施設の設置目的、事業に沿った利用が図られている。			☆				3			
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	基本協定に基づき、個人情報の保護が適切に実施されている。			☆				3			
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	熱中症への注意喚起、感染症防止の取り組み、施設の定期的な安全点検等が適切に実施されている。			☆				3			
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	消防計画に基づく訓練が定期的を実施されている。			☆				3			
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	森林・林業に関するパネルやパンフレットの掲示等を行っており、施設の設置目的に沿った事業が展開されている。			☆				3		
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	施設利用者に対し満足調査を実施しており、職員の対応や施設及びイベント内容に係る満足度は高い。			☆				3		
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	利用者のニーズを探りながら、特色ある自主事業が実施されている。			☆				3		
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。	受託事業は適切に実施されている。			☆				3			
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	常に利用者の意見を聴取しており、その意見が施設の管理運営に反映されている。			☆				3			
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	収支は適正に管理されている。			☆				3			
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	維持管理経費等の削減に努め、安定的な経営が行われている。			☆				3			
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されている。			☆				3			
評 点 合 計					標準		57	加算			57			
審査結果		山口市と指定管理者との間で締結した基本協定書及び年度協定書に基づき、森林・林業関係の研修会等の場として関係団体等に利用されるとともに一般にも貸し出され、適切に運営されている。 同施設に事務所を持つ山口県中央森林組合が指定管理者であり、効率的な施設運営と人件費・維持管理経費の低減に繋がっていると、経理事務は適切に処理されている。 施設の利用実績は、昨年度より7件増加し、過去5年間で最も多い117件。 受託事業の「森林ふれあい行事」においては、30名の募集に対し80名以上の申し込みがあるイベントもあり、人気となっている。イベント開催時には、森林の持つ多面的機能の周知に積極的に努めている。			年度評価			A						
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価						
			A											
総 評														

事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野農産加工販売所

担当部 農林水産部

担当課 徳地農林振興事務所

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
地域農家 柚野農産加工販売所 利用者	【施設の概要】 ・地元農産物を使った加工品の開発、製造及び地元農林産物の販売を目的として平成17年6月25日に開設しました。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者の主な業務】 ・農林産物の加工や販売に関することを行いました。 ・都市・農村交流イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等を行いました。 ・主に特産品を使用した加工品の生産や販売を行いました。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が加工販売所を訪れるようになります。	

総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興
事業開始背景等	地元農産物の加工販売を目的として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。	

昨年度の実績評価

妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☒ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業	☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
有効性	成果状況	令和5年度から豆腐、もち等の加工品の生産や販売を停止しましたが、地元の食材を使用したお弁当の生産や販売を開始し、集客数の増加に努めております。 引き続き、加工品の内容について見直しを実施することで、成果向上の余地があります。
	☐ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☒ 低下・悪化	
	成果向上余地	
	☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ なし	
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設はありますが、都市農村交流の拠点として管理運営が行われており、統合等は困難です。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし	
	コスト削減余地	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切	

改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など

特産品の出荷者である地域住民の生きがい創出、地域コミュニティの拠点として機能していますが、過疎化・高齢化が著しく、出荷者の減少による朝市の出荷品の減少に直面しており、開設当初から比べると来場者が減少傾向にあります。 食堂メニューやお弁当の内容の見直しや、商品の販売販路の工夫などにより収入増加に努めるとともに、地域の行事、都市農村交流イベントに積極的に参加し、利用者の増加や地域の活性化を図ることが大切です。また、運営者が必要最小限の人数である為、後継者の育成に取り組んでいくことが必要不可欠です。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市柚野農産加工販売所 指定管理者: 山里農産加工販売所運営協議会

指定期間: 令和4年度～令和6年度

評価項目				評価コメント		評価					評価点
						不履行 多数	一部不 履行	良好	優秀	特に 優秀	
						(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、修繕、鍵施錠など、適正な施設の運営が行われたか。	受付事務、利用許可、貸館、修繕等の施設運営については適正に実施している。また、鍵の施錠については、協議会で責任者を決めて適正に行っている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理及び備品管理は適正に行われたか。	清掃や防火設備等の保守点検などを定期的に実施し、適正な施設の維持管理や備品管理に努めている。			☆			3	
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	開館時に施設利用者に対応できる人員配置がされている。また、定期的にミーティングを実施し情報共有を図り、運営者全員で業務改善に努めている。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の農家が生産した野菜や新米、黒毛和牛の牛肉、徳地の和菓子等の特産品を販売することで地域の農家や事業所等と連携をすることが出来た。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	親切で丁寧な接遇を心がけ、利用者に対する案内や商品等の説明も適切に行われた。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働者の健康と安全について、従事する作業を適切に管理するように努めて、労働関係法令は遵守されている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報については、鍵のかかるロッカーで適切に保管している。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	建物内外の定期的な見守りにより異常の有無を確認している。火気利用時の点火や消火を確実にし、プロパンガス利用後はガス栓を確実に閉めることで、日常の事故防止や安全対策を適切に実施している。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急連絡網を作成し、危機管理体制を整えている。また、消防設備、浄化槽の各保守点検を専用業者に再委託し、施設利用に支障が無いように努めている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため、効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	フェイスブックやInstagramにより、不特定多数の方に向け当施設や商品を写真と一緒に紹介し、利用者の利便性や地域の活性化を図っている。				☆		4
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	商品を紹介するPOPを展示して、商品の魅力や特色について分かりやすい案内を心がけ利用者サービスの向上に努めている。POP自体も手書の物や写真を使用した物等、目を引くような工夫や来場者が楽しむことが出来る工夫がされている。山口観光コンベンション協会徳地支部のスタンプラリーに参加し、施設の利用促進に努めている。				☆		3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域の夏祭りに参加して、そばやうどん等の食事提供をして、地域の活性化に向けた取り組みを実施している。				☆		3
			改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケート回収箱を設置し、出荷者や利用者の意見を反映し、管理運営が行われている。				☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	食堂メニューの見直しや、安価なお弁当の提供、地元の野菜や黒毛和牛の牛肉、和菓子等の特産品の販売や貸館を継続して行うことで、収入の増加に取り組んでいる。令和6年度に、新たな試みとして年末年始に開館をして、集客や収入増加のための取組がなされている。				☆		3	
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	電気料金やガス料金等の経費削減に努めて、収支は適正に管理されている。				☆		3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	概ね安定した経営が行われている。電気料金等の経費の削減や、商品や食堂メニューの見直しなどの工夫により収入増加に向けた取り組みを維持し、安定的な運営をしていく必要がある。				☆		3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。複数名による監事の会計監査が行われており、適正に処理された。				☆		3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		地元の食材を利用したお弁当の生産や販売、黒毛和牛の牛肉や野菜、和菓子等の特産品の販売と食堂の営業を通じて、農家や事業所等と連携し地域の活性化を図っています。フェイスブックやInstagramにより、不特定多数の方に対して当施設の紹介を行い、利用促進を図る取組を実施しています。お弁当の生産、販売や売店での特産品等の販売、食堂の営業、貸館を継続し、電気料金等の経費削減に努めることで、安定的な運営を実施しております。商品や食堂メニューの見直しを行い、地域ならではの魅力的な内容にすることで、利用促進を図り、地域の活性化や安定的な運営を継続していくことが必要です。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価 良好		
				A	A	A					
総 評		利用者が安全に快適に施設を利用出来るように各種保守点検を定期的に行い、また、来場者に親切で丁寧な接遇を行い、施設の適正な管理運営を実施しています。令和5年度に豆腐・もち等の加工品の生産や販売を停止しましたが、地元の食材を使用したお弁当の生産や販売、地元農家が生産した黒毛和牛の牛肉や野菜を使用した食堂メニューの提供、フェイスブック・Instagramによる施設や商品の紹介により、利用者サービスの向上や利用促進に向けた工夫をしています。レジ通過者数を比較すると令和6年度が最も増加し、集客数増加につながっていることが分かります。メニュー見直しにより食堂収入については、指定管理期間中で比較すると令和6年度が最も高収入でした。収入増額に伴い材料費等の支出も増額している為、定期的な貸館により施設利用料金の収入を得て、経費削減に努め、安定的な施設管理運営を行うための取組みがなされています。									

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

担当部 農林水産部

担当課 徳地農林振興事務所

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 山口市徳地農業公社 新規就農希望者	当該施設で、新規就農希望者(認定就農者)を対象に栽培に必要な技術等を習得するための実践的な栽培研修を行います。管理運営については、山口市徳地農業公社を指定管理者として行いました。 【施設概要】 敷地面積：8, 014㎡ 管理棟 木造2階建 栽培ハウス(イチゴ) 2棟 栽培ハウス(ホウレン草) 2棟 育苗ハウス 2棟 栽培ほ場 2, 000㎡
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
当該施設で研修を行った新規就農者が地域の中心的担い手農家として活躍しています。	

総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち
	基本事業	多様な担い手の育成・支援
事業開始背景等	若い農業者の確保・育成と定住を目的に平成12年に設置した施設であり、目的達成のため施設の適切な管理・運営を図る必要があります。	

昨年度の実績評価

妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☒ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業	☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
有効性	成果状況	施設の設置目的に従い新規就農を希望する研修生を継続して受け入れ、研修終了後就農につなげることで、新規就農者の増加を図ることができます。引き続き、研修内容の見直し等を行いながら、研修生の受け入れを行います。
	☐ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☒ 低下・悪化	
	成果向上余地	
	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ なし	
効率性	類似事業との再編成	対象及び目的等が限定されており、類似の事業はありません。
	☐ 再編成できる(理由→) ☐ 再編成できない(理由→) ☒ 類似事業なし	
	コスト削減余地	ありません。
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切	

改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など

中山間地域で人口減少や高齢化の進展している現状を踏まえ、関係機関と連携し、農地の保全管理と担い手の育成に取り組んでおり、当該施設で研修を受けた者が、現在では地域の中心的担い手として活躍しています。
しかしながら、農業を取り巻く環境の変化に伴い、新規就農希望者が農業経営を開始するために必要な栽培技術や知識習得する方法もSNSの活用など多様化しており、また研修作物も限定されることから研修生の確保が困難となってきました。県外からの短期農業体験の受け入れなども行っていますが、研修生の確保にまで至っていない状況です。令和7年4月から地域おこし協力隊が徳地地域の振興作物や水稻の栽培技術を習得するための研修受入を始めました。
また、施設整備や農場事業の対象・意図を見直し、施設の管理運営内容を検討する必要があります。

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 指定管理者: 公益社団法人山口市徳地農業公社

指定期間: 令和6年度～令和11年度

評価項目				評価コメント	評価					評価点	
					不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	運営業務に支障を来すことのないように施設・設備等の定期的な点検や破損箇所の修繕が行われており、運営上の問題が発生した場合も、市への報告を含めた迅速な対応によって、適正な施設の運営が実施されている。入退室時の施錠は使用者が行っている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	施設内並びに施設周辺の環境は清掃によって衛生的に保たれており、設備や機械類の維持管理においても定期的に点検、修理を行い適正に実施されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	研修生の指導等に対応できる人員が配置されている。また、JA山口県の講師の招聘、山口県農林水産事務所の巡回を通して、農作業のオペレーターに対する指導に必要な作業の技術講習や注意事項の受講、栽培作物の研修を行うことで、指導員のスキルアップが図られている。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地元中学校や県外からの視察研修など地域や関係団体と連携を図り受け入れを行っている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	農業従事者の健康と安全について、従事する作業を適切に管理するように努めて、労働関係法令は遵守されている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例や規則等が遵守され、適切に対応されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適切な管理に努められている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	農作業の実施前には、作業内容における注意事項の確認並びに作業に対する安全の監督体制が徹底されている。また、農作業の実施後に機械の点検、整備を行っている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	農業用機械、資材及び薬品等は、格納庫の施錠できるロッカーで適切に管理されている。また、緊急連絡網等による危機管理体制も徹底されている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	JA山口県広報誌のJAだよりに農業公社の記事を毎月掲載している。また、山口県農林水産事務所など関係機関への積極的な情報提供が行われている。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	県外からの短期農業体験の受け入れなどをした方からの意見や要望を調査し、利用者サービスの向上や利用促進につなげるため、検討されている。			☆			3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	やまのいも、ピーマンなどの地域特産物の振興に関する事業やイチゴ等の生産技術の普及に関する普及啓発の自主事業が積極的に実施されている。				☆		4
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。	農家への農作業の技術指導等の各種支援について、農業知識、農作業向上のため指導を行うなど受託事業は適切に実施された。			☆			3	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	本施設の利用者、卒業生及び関係機関の感想・意見を聴取し、効率的な研修や運営が実施できるよう業務改善の検討を行っている。また、見学者や農作業体験者にアンケートを実施して意見、要望を聴いている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	施設で生産した収穫物の販売、農作業の受託を行い、収入増加のための取組がなされた。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	効率的な運営により、概ね収支状況は、収支計画と整合した収支状況となっている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	光熱費や燃料費の節減等により、健全な収支状況となっている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による定期的な監査が行われており、事業報告等の経理事務は適正に処理されている。			☆			3	
評 点 合 計					標準	54		加算	1	55	
審査結果		公益社団法人山口市徳地農業公社は、農業経営に必要な技術や知識の習得支援が行えるように新規就農者の受入体制を万全にし、施設の維持管理及び適時適切な修繕を行っています。 また、農作業受委託による地域農業の支援や栽培技術の普及等を行い、地域農業を持続的に発展させる仕組み作りを適切に実施しています。さらに、農作業体験のイベントを開催したり、地元の中学校や県外からの施設見学の受け入れたりすることで、地域の学校等と連携を図り、地域農業の振興と地域コミュニティの維持・強化に貢献しています。			年度評価		A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評					総合評価						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市三谷交流センター

担当部 農林水産部

担当課 徳地農林振興事務所

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家及び住民 三谷交流センター利用者		【施設概要】 ・平成16年にオープンし、交流室、調理等体験交流室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、助言指導を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・地域の集落間の連携事業に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農家及び住民と都市住民との交流により地域が活性化します。 利用者の農業に対する理解が促進します。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	三谷地域は過疎化・高齢化が進行しており、都市農村交流の拠点として平成16年に整備しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☐ 貢献度中 ☒ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
有効性	成果状況		一年を通じた多彩なイベントの開催により、地域内外の交流拠点としての機能を果たしています。
	☐ 向上(最高状態維持含む) ☒ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化		
	成果向上余地		
	☐ 大 ☐ 中 ☒ 小 ☐ なし		
効率性	類似事業との再編成		市内に同様の施設がありますが、都市農村交流の振興の拠点として管理運営をしており、統合等は困難です。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし		
	コスト削減余地		コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
三谷交流センターは地域コミュニティの中核施設としての利用のほか、地域内外の住民の交流促進を担う施設です。地域住民の高齢化により都市住民との交流事業の開催が難しい状況にあり、地域外からの利用は減少していますが、定期的に地域住民が利用をするなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしています。指定管理者である三谷地域づくり協議会は、高齢化に伴い人材が不足していることから、新たなメンバーを確保するなどの組織強化が必要です。 定期的な消防設備等の保守点検や清掃、施設の修繕等を実施し、常に安全に快適に施設を利用することが出来る状態を維持しています。維持管理費用を抑えた中で、適正な施設の維持管理を継続していくことが大切です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地三谷交流センター 指定管理者: 三谷地域づくり協議会

指定期間: 令和6年度～令和10年度

評価項目				評価コメント	評価					評価点	
					不履行 多数	一部不 履行	良好	優秀	特に 優秀		
					(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)		
施設の 適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、修繕、鍵施設など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の利用許可事務、修繕、鍵施設等、適正な施設の運営が行われた。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理及び備品管理は適正に行われたか。	定期的な清掃や、指定管理者の呼びかけにより、関係自治会の住民による一斉清掃を実施し、施設内外の美化に努めている。また、消防設備点検や浄化槽の維持管理等を定期的に実施し、適切な施設の維持管理に努めている。			☆			3	
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	協議会内で役員や、施設維持管理、利用受付、鍵保管者等の役割分担を決定し、適切な人員配置により施設管理や事務処理が行われている。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	生き生き百歳体操や、各地区自治会総会等での利用の際に、年輪の会等の地域団体や、自治会、行政等の関係団体との連携や協働が適切に行われている。				☆		4	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者からのトラブルや苦情は無かった。トラブルや苦情については未然に防止することを基本とし、苦情があった際の体制も整備されている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	利用者に快適に施設を利用してもらう為に、協議会を中心とした地元の住民が協力して、適切な時間で施設の管理を実施している。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	利用申請書に記載されている個人情報は、施錠できる場所で適切に保管されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な施設周辺の点検をしており、日常の事故防止や安全対策を適切に対応されている。 賠償責任保険に加入し、利用者が怪我をした際の補償に備えている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の連絡網が整備されており、適切な安全管理体制がとられている。 消防訓練を実施し、火災発生を想定した避難時の行動等について地域住民で認識するように努めている。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため、効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	生き生き百歳体操、巡回診療の日程について、施設内に日程が分かるカレンダーを掲示し、施設利用者に向けた周知に取り組み、地域内の住民の健康的な生活に寄与している。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	主に地域内住民が利用し、地域外住民の利用が減少しているが、今後の利用向上に向けた検討がなされている。 生き生き百歳体操と健康に関する講座の同日開催や、一斉清掃と防火訓練の同日開催等で、地域内の住民が参加しやすい環境づくりに努めている。			☆			3	
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	生き生き百歳体操実施日と同日に、健康に関する講座を開催し、地域内の住民にチラシを配付し参加者の集客に努め、地区住民の交流や三谷地区の集落間の連携が図られている。			☆			3	
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	地域の利用者間で協議をして、意見、要望の把握に努め、管理運営の改善が図られている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	地域団体の利用が主であり、利用料金の収入があまり見込めない状況であるが、継続して貸館を実施することで、安定した自主財源の確保に努めている。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況も順調で、計画的に処理がされている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	電気やガスの利用を必要最小限にし、経費削減に努めている。概ね、安定的な経営がなされている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。			☆			3	
評 点 合 計					標準		54	加算	1	55	
審査結果		年輪の会等の地域団体や自治会、行政等の関係団体と連携し施設利用を行うことで、地域の活性化を図っていることについて評価することが出来ます。 生き生き百歳体操、巡回診療の日程を施設内に掲示したり、山口市と連携した健康に関する講座のチラシを該当自治会内の地域住民に配付し、地域内の住民の利用拡大に向けた取組がなされています。地域住民の高齢化により、以前のようなイベントの実施が出来ず、地域外からの利用者は減少傾向となっており、地域外の住民との交流事業の継続が困難となってきました。今後は、地域に密着した施設としての利用に重点を置くなど、新たな施設の利用方法を検討していく必要があります。 貸館による自主財源の確保に努め、施設管理の為に適正な支出や電気料金等の経費削減を行い、安定的な運営を実施しています。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A							
総 評										総合評価	

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地高齢者・若者活性化センター

担当部 農林水産部

担当課 徳地農林振興事務所

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 高齢者・若者活性化センター利用者		【施設概要】高齢者若者活性化センター(南大門) ・平成3年11月オープンです。 ・展示販売所、研修室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の展示販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流、イベント開催・参加、高齢者の生きがい創出・社会参加に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が高齢者若者活性化センターを訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等		徳地地域の豊富な農林水産資源ならびに高齢者に蓄積された体験及び知識を活用した特産品の振興及び若者への伝承により、一次産業を中心とした地域活性化を図ることを目的として設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☒ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
	有効性	成果状況	現在においても、都市農村の交流拠点としての機能を十分に発揮しておりますが、今後は、季節ごとに開催されるイベント企画の工夫や販売品目の幅を広げることで交流拠点機能の向上を図れます。
		☐ 向上(最高状態維持含む) ☒ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化	
成果向上余地 ☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ なし			
効率性	類似事業との再編成		市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に密着した管理運営が行われており、統合等は困難です。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし		
	コスト削減余地		コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
猛暑などの影響により来場者数、販売収入とも前年度を下回りました。 指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、維持管理費用を抑えた中で一定の成果をあげており、現在の状態を維持していくことが大切と考えています。 また、SNSを活用した情報発信を積極的に行い、地域の農業者等の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進にも貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名： 山口市徳地高齢者・若者活性化センター

指定管理者：徳地ふるさと資源活用協会

指定期間：令和6年度～令和11年度

評価項目				評価コメント					評価					評価点
									不履行 多数 (1点)	一部不 履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の点検を定期的に行い、異常箇所を発見次第、迅速に修繕等を行っており、適正な施設の運営が行われている。			☆				3			
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	毎日のトイレ清掃をはじめ、施設の美化が適正に行われている。また、備品等も良好な状態に管理されている。			☆				3			
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	専門的知識が必要な保守点検及び年次の定期清掃のみ委託しており、適正な監督等がされている。			☆				3			
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	効率的な人員配置がされている。定期的なミーティング等を通じて職員の啓発が行われている。食品表示の研修を実施している。			☆				3			
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地元中学校の職場体験の受け入れなど地域や関係団体との連携や協働が適切に行われている。			☆				3			
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情や利用者とのトラブルは特にないが、苦情があった際は迅速に対応できる体制はとられている。			☆				3			
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法や労働安全衛生法などの労働関係法令は遵守されている。			☆				3			
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆				3			
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報第三者の目に触れることの無いよう処理し、保管する際は施設施設で適切に保管されている。			☆				3			
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	避難訓練を定期的実施しているほか、安全確保のため施設内外の点検をされている。			☆				3			
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	営業終了後は、資材や運搬具を店舗内に収容し、夜間については、機械警備を導入しており、適切な防犯対策が講じられている。			☆				3			
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	SNS・テレビ・ラジオ・新聞等を活用した広報活動が行われており、地域農産物等の効果的なアピールに努められている。			☆				3		
		利用者の満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	POP制作や調理レシピの配布など商品の魅力を伝える取組や季節の催し実施などサービス向上に努めている。 また、利用者目線で商品を配置・展示するなど、買う立場を考え工夫を行っている。				☆			4		
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから、感染防止に配慮したイベントの企画や出店を実施されている。				☆			3		
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	食べ方の分からない農産品の調理法など商品を購入された方にレシピを配るなど利用者の声を反映している。				☆			3			
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	利用者の安心・安全というニーズに応えるため、取り扱い商品のほとんどが地元産で揃えられている。また、生産者に呼びかけ野菜などの取り扱い数を増やす努力をされている。			☆				3			
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	当初収支計画と収支状況は概ね整合している。				☆			3			
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	職員退職、人員配置の見直しにより、単年度収支は黒字であった。				☆			3			
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。税理士のサポートを受けながら、適正な処理がされている。				☆			3			
評 点 合 計					標準	57		加算		58				
審査結果		指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、SNS、テレビ、ラジオ、新聞等の各種メディアを活用し、積極的に情報発信に努めており、地元農産品の消費拡大による生産者の意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進に貢献しています。			年度評価			A						
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価					
				A										
総 評														

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

担当部 農林水産部

担当課 阿東農林振興事務所

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・阿東ふるさと交流促進センター		【施設概要】阿東ふるさと交流促進センター ・平成22年4月オープンです。 ・農場、生産施設、交流談話室、研修施設等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委託し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施した主な業務】 ・施設、市民農園の運営管理。 ・農場及び生産施設の利用者に対する栽培指導。 ・農作物に関連した体験型交流事業。 ・作物栽培の研修会等。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
・市民が農業に触れ合う機会を創出し、農産物への理解を促します。 ・多くの人々がふるさと交流促進センターを訪れます。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	農林業の振興	
	基本事業	都市農村交流の推進	
事業開始背景等		閉鎖した県施設を譲り受け、都市農村交流により、地域の振興を図るために平成21年に設置し、指定管理制度により運営しています。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☐ 貢献度大 ☐ 貢献度中 ☒ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
有効性	成果状況		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、農業体験・研修イベントが積極的に行われています。周知を重ねることで、より多くの参加者を募ることが期待できます。
	☒ 向上(最高状態維持含む) ☐ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化		
	成果向上余地		
	☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ なし		
効率性	類似事業との再編成		市内には同様の施設がありますが、農園等の施設利用者の多くは、自宅からの距離が近いことや阿東地域の気候・環境にメリットを感じているため、施設の廃止、統合は適当ではないと考えます。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし		
	コスト削減余地		
	☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切		コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も経費節減に努めます。
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、施設の維持管理及び市民農園等運営業務を適切に実施しており、また都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

指定管理者：NPOあとう

指定期間：令和3年度～令和7年度

評価項目				評価コメント		評価					評価点
						不履行 多数 (1点)	一部不 履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設や設備の点検は定期的に実施されており、おおむね適正な施設運営が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	施設内及びその周辺環境は良好に保たれており、設備や機器類の保守管理も適切に実施されている。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	植栽の剪定を委託しており、適正に行われている。			☆			3	
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設運営のため、必要な人員数が確保されており、農園管理については経験者が配置されている。また、職員の研修等については、野菜の栽培講習会講師から定期的な指導を受けている。				☆		4	
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	様々なイベントや行事を行う中で、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われている。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	事故や苦情等も特になく、適切に運営されている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	現状の施設の中で工夫され、概ね充実している。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	平等に利用されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	基本協定に基づき、個人情報の保護が適切に実施されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な施設周辺の点検をしており、また、各種イベント等の利用前にも点検を行うとともに、段差解消や害虫への注意喚起など安全対策を適切に対応されている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	定期的な異常箇所の点検や感染症対策の徹底を行うなど、適切な安全管理体制が整備され、非常時の連絡網など各種マニュアルも作成されている。				☆		4	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	農園イベントの市報掲載による周知や農園だよりなどで広報・情報発信が行われている。				☆		4
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	イベント参加者や農園利用者等にアンケートを実施し、改善を図っている。研修会や野菜苗の斡旋を定期的に実施している。			☆			3
自主事業			・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	市民の農への関心を高める農業体験イベントを定期的に実施している。			☆			3	
体験交流事業			・体験交流事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的に沿った事業展開が図られており、年4回の体験交流イベントが実施されている。また、施設を活用し「餅ひろい世界選手権」の実施により交流人口の増加に寄与した。				☆		4	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	常に利用者の意見を聴取しており、屋外時計の設置など施設の管理運営に反映されている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	施設と法人形態の性質上、収益を目的とした事業は困難であるが、参加費の徴収など最低限の収入確保はなされている。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	人件費や物件費の高騰に対応するため、可能な限り経費節減に努められている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	諸費用高騰により厳しい状況ではあるが、収支の安定を図るため努力されている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。			☆			3	
評 点 合 計					標準		60	加算	4	64	
審査結果		阿東ふるさと交流促進センターは、廃止された旧施設を譲り受けたもので老朽化が著しいが、様々な工夫で施設の維持管理を適切に実施されている。また、都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献され、利用者へのサービス向上の取り組みも実施されている。経営状況については概ね良好と評価した。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
				A	A	A	A				
総 評					総合評価						